



↑ 1947年、市場小後方の二階校舎を仮校舎として、赤池中学校が発足。炭鉱隆盛期などで生徒数が急増したため、増改築を繰り返しながら規模を拡大。
← 1974年、老朽化に伴い建て替え工事が始まる。

現校舎完成時中学2年生、現PTA副会長にインタビュー

二宮 直文さん(第28回生)・琴乃さん(中3)

現 校舎が新築された、1975年に在校生として通っていた二宮直文さん。現在3年生の琴乃さんの保護者で、PTA副会長を務めています。直文さんは「旧木造校舎は夏は暑く、冬はすさまじく寒かった」と母校の思い出を懐かしみ、「生徒として、保護者として関わった校舎が建て替わるのは寂しいが、生まれかわる学校が子どもたちのためになればうれしい」と、新生赤池

中学校へ熱い視線を送りました。琴乃さんも「仲のいいみんなと過ごした学校がなくなるのは悲しいけど、今日までありがとうと言いたい」と、校舎へ感謝の思いを語りました。



一般開放日に訪れた参加者にインタビュー

篠原 千佳さん(第48回生)・海咲さん(市場小5)

「卒業以来赤池中に来たことがない」と話す篠原千佳さん。一般開放日に娘の海咲さんと中学校を訪れました。「校舎の外は私たちが通っていたときと雰囲気は違いましたが、中は昔と全然変わっていない」と昔を思いだして目を細める千佳さんは、校舎の建て替えについて「学生時代に一番思い出深かったのが中学時代でしたので、正直さみし

いですが、新しく建設される校舎には娘が通うことになると思うので、現校舎同様に地域に愛されるような校舎となってほしい」と話しました。海咲さんも「校舎が建つのを楽しみにしています」と話し、新校舎に期待を寄せていました。



思い出の校舎に別れを青春時代に想いを馳せて
旧木造校舎の建て替えが1974年に開始され、約1年間をかけて建設された赤池中学校舎。昨年度までに4843人の生徒が巣立ちました。38年間の生徒たちの思い出が詰まったこの校舎も、老朽化や耐震不足のため、7月下旬から解体工事に着手し、新校舎建設が始まります。



↑ 懐かしい思い出話に花を咲かせ、カメラを手に校舎を巡る卒業生。

にもう一度立ち入りたい」「写真に残したい」などと想いを募らせた約70人が来校。友人同士や家族で足を運んだ人も多く、懐かしい教室で思い出にひたり、机などの備品に触れながら感慨深げに別れを告げていました。
新校舎は10月に着工する予定で、約1年間をかけて建設。体育館を含めて約6千㎡の校舎に、これまでなかった約250㎡の武道場が併設されます。



5 運動場に建てられ、新学期から使用される仮校舎 6 校舎と福智山楼がきれいに見渡せる運動場 7 卒業式や入学式、文化祭など、生徒たちの思い出がたくさん詰まった体育館も建て替えられる

1 忘れ物などで先生に叱られ、廊下に立たされた人もいるはず... 2 赤池中の校訓は自律・知性・協和 3 生徒の思い出の数と同じぐらい傷が刻まれている机 4 生徒が勢いよく駆け上がった階段

校歌

一 春風野辺を吹く朝
英彦河原に想を練り
伸じる緑の若草と
繞りて進む白濁の丘
あは健児その名
赤池中学校

二 黄金の稔 照ら夕
勤労の道 一作物に
山並靡ら紅葉に
繞りて築く平和境
あは健児その名
赤池中学校

三 酷暑大地焦す昼
学びの庭に真理追
清き滝水白糸と
繞りて磨く真心を
あは健児その名
赤池中学校

四 酷暑草木凍白時
福智風身に録え
輝く峰の白雪と
繞りてあはれ我歴史
あは健児その名
赤池中学校